生活協同組合コープこうべ

やさしさつむいで　笑顔で未来（あした）へ

# ターゲット2030

coop next 100

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C020561
www.fsc.org

2021年6月発行

# はじめに

2021年4月、コープこうべは創立100周年を迎えました。100年は到達点でもあり、同時に出発点でもあります。次の100年に向けて、私たちは、どんなまち、どんなくらし、どんな生協でありたいか…。そこから、このプロジェクトはスタートしました。

生協らしく、みんなの知恵と想いを寄せ合い、まずは10年後の“ありたいまち・くらし”を表現したビジョン「ターゲット2030」を策定しました。2019年1月からスタートしたビジョンづくりは、ワークショップや未来へのメッセージなど様々な形で、プロセスを大切にしながら、1万2300人もの組合員・役職員が参画しました。

みんなの言葉、みんなの想いをつむいで浮かび上がったのは、「つながり・健康・環境・あんしん」という4つのテーマです。

“やさしさつむいで　笑顔で未来(あした)へ”をスローガンに、この4つのテーマを柱にご一緒に活動と事業をすすめ、『コープのあるまち　協同のあるくらし』を実現していきましょう。

また、このビジョンを未来の子どもたちにもわかりやすく伝えたい！との思いで、歌「100周年記念ソング」と絵「キービジュアル」で表現しました。各ページの二次元バーコードから、ぜひご視聴ください。

これからも、創業の志、「愛と協同」の精神を胸に、みなさまとともに、笑顔あふれる未来への扉を開けて、元気に歩を進めてまいります。

生活協同組合コープこうべ

目次


概要 ……P3

コープこうべのビジョン
「ターゲット2030」 ……P4～5

これまでのプロセス ……P6～7

記念ソング……P8～9

2030年の注目すべき環境変化 ……P10～11

**「ターゲット2030」の**
**キービジュアル(表紙)について**

人と人、人と自然、人と地域がつながり、共生することで、健康で安心できるまちやくらしをつくりたい、そんな想いを込めてつくりました。

coop next 100

## やさしさつむいで 笑顔で未来(あした)へ

### ～コープのあるまち 協同のあるくらし～

**わたしたちは、100周年を迎えるにあたり、みんなの知恵と想いを寄せ合い、10年後の“ありたいまち、くらし”を表現したビジョン「ターゲット2030」を策定しました。**

**ビジョン「ターゲット2030」が実現する「まち、くらし」**

**つながり**
人と人とが
やさしさでつながり、
助け合える
「まち、くらし」

**健　康**
健康で
いきいきとした
毎日を送れる
「まち、くらし」

**環　境**
自然環境と
共に生きる
「まち、くらし」

**あんしん**
みんなが笑顔で、
安心できる
「まち、くらし」

1921年の創立以来、コープこうべは、愛と協同の精神でさまざまな不安や困難を乗り越えてきました。
「一人は万人のために　万人は一人のために」を合言葉に、組合員自らが当事者となり、
たとえ一人ひとりの力は小さくても、手を取りあい、ココロとチカラを寄せ合うことで、
くらしの安心を紡いできました。

そこにはいつも、人や地球環境へのおもいやりとやさしさがあり、
明日に希望をつなぐ笑顔であふれていました。

今、わたしたちがくらす世界は、少子高齢化の進行や人口減少、格差や貧困の拡大、
地球温暖化に伴う気候変動や大規模な自然災害などにより大きく変化しています。
また、感染症など予測できない新たな脅威によって、これまで培ってきた多くのものが
変化を強いられています。

多様化、複雑化するまちやくらしの課題に対して、わたしたち協同組合への期待は、
ますます大きなものとなっています。

創立100周年、同時に次の100年への扉をあけた2021年、みんなの知恵と想いを寄せ合って、
10年後の“ありたいまち・くらし”を表現したビジョン「ターゲット2030」は生まれました。
ここには、日本の協同組合の父であり、先駆者的役割を果たした賀川豊彦の言葉
“未来ハ我等のものな里”の気概が今も息づいています。

誰もが地域で安心してくらせるように、そして、未来の子どもたちが笑顔であふれるように。
わたしたちはこれからもやさしい心で「コープのあるまち　協同のあるくらし」を実現します。

# コープこうべのビジョン「ターゲット2030」

みんなが（で）
できること

## 人と人とがやさしさで つながり、助け合える

わたしたちは、人と人とのつながりを大切に、
様々な資源をつなぎあわせることで、
笑顔あふれるコミュニティづくりの一翼を担います。

❶助け合える「仕組み」や「機会」を地域社会とともにつくる
・人が出会える、くらしの拠点づくり
・地域諸団体と連携したさまざまな活動づくり

❷さまざまな資源をつなぐ
・「人」「モノ」「コト」「情報」をマッチングするプラットフォームの役割

❸くらしのインフラとしての役割を担う
・多様なくらしに対応できる、次世代につながる場づくり

ありたいまち、
くらし

**つながり**
人と人とが
やさしさでつながり、
助け合える
「まち、くらし」

**健　康**
健康で
いきいきとした
毎日を送れる
「まち、くらし」

**環　境**
自然環境と
共に生きる
「まち、くらし」

**あんしん**
みんなが笑顔で、
安心できる
「まち、くらし」

やさしさつむいで　笑顔で未来（あした）へ

## 自然環境と共に生きる

わたしたちは、より良い利用と行動で、
豊かな自然を未来につないでいきます。

❶より良い消費行動・運動につなげる
「消費のスタイリスト」を目指す
・持続可能なくらし方の提案
・地域課題に目を向け、食品ロスをなくす取り組み
・適量、食育、住育の提案

❷地域の資源を循環させるコーディネーターとなる
・地域の資源を活用し、生産者と消費者の
モノ・コト・情報のシェアをサポート
・限りある資源を大切にした食とくらしの提案

❸防災力NO.1の地域づくりを推進する
・防災・減災に向けた啓発や防災を担う人材の育成
・災害に備えた地域の拠点づくり

## 健康でいきいきとした 毎日を送れる

わたしたちは、食とくらしの情報を正しく学び、
分かりやすく伝えることで、誰もがいきいきと自分らしく
くらせる場づくりを行い、より良いくらしの選択肢を広げます。

❶笑顔あふれる食卓づくりを提案する
・より良い“食”のあり方の追求とくらしの提案
・時代に即した食の提案と食文化の伝承

❷情報があふれる今だからこそ正直・誠実に分かりやすいカタチで伝える
・食の安全に関する情報を正しく発信
・生活に関するより良い情報をアップデート
・介護や育児など多様な課題に対応した食とくらしの提案

❸だれもが利用しやすい「場」づくりをすすめる
・楽しくつどえる“場”、だれもが利用しやすい“仕組み”づくり

## みんなが笑顔で、 安心できる

わたしたちは、一人ひとりの声やくらしから生まれた
想いや願いを実現し、平和でより良いくらしを追求します。

❶安心して子育てができるよう世代をこえてつながる場づくりを実現する
・悩みや困りごとを気軽に相談できる交流の場づくり（地域で、オンラインで）

❷誰もが働きやすい社会づくりを推進する
・時間や場所にしばられない働き方の実現
・子育て、介護、障がいの不安があっても個々の能力を生かした働き方が
実現できる仕組みづくり

❸世界平和を願う運動体として進む
・誰もが参加し、取り組みやすい平和活動の枠組みづくり
・平和とより良いくらしの実現を追求し続ける

# 「ターゲット2030」策定のプロセス

2019年1月からスタートした「ターゲット2030」づくり。
みんなが主役を合言葉に、1万2300人の組合員・役職員の知恵と想いを込めて策定しました。

### 100周年プロジェクトチーム

「ターゲット2030」の骨子づくりに取り組み、全体の企画、運営を行いました。

### 役員ワークショップ

“想像できるものは創造できる”を意気込みに、ありたい姿を想像し、私たちの果たす役割を考えました。

### 所属長ワークショップ

6会場で所属長ワークショップを実施しました。
2030年の情勢を見据えた、ありたいまち、くらしを想像しました。

### 職員ワークショップ

店舗や宅配、各部でもワークショップを実施しました。

2019年

1月

### 地域の未来を考える会

地域の中で楽しく、未来について語る場づくりのための手法を考え、たくさんのアイデアがうまれました。

2月

### 組合員ワークショップ

各地域で、様々な形でワークショップを実施しました。

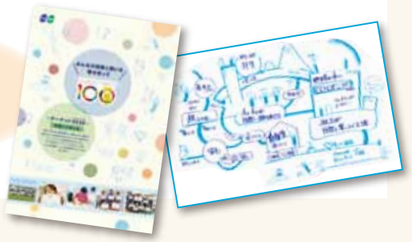
3月

4月

5月

8月

中間とりまとめで、
9092人の声が集まりました



### 春の地区別総代会議ワークシート

2030年のありたいまち、くらしを実現するために「組合員としてチャレンジしたいこと」を宣言しました。

2020年

4月

5月

6月

地区別総代会議771人の
総代の声を受けて1次案作成

9月

未来へのメッセージ募集
2437人の想いを受けて

### 未来へのメッセージ

「100周年記念ソング」のフレーズと「10年後のわたし・まち・くらし」をテーマにしたイラストを募集。
多くのみなさんから、未来への想いを込めたフレーズやイラストが寄せられました。

2021年

4月

### 最終案が完成

私たちは次の100年も「コープのあるまち 協同のあるくらし」を実現するために、まずはこの10年のビジョンとして「ターゲット2030」を策定しました。このビジョンづくりには、ワークショップやワークシート、未来へのメッセージなど様々な形で1万2300人の組合員・役職員が参画しました。そこで出されたみんなの言葉、1つ1つをつむいで出てきたのが、「つながり・健康・環境・あんしん」の4つのテーマです。
“やさしさつむいで　笑顔で未来(あした)へ”というスローガンのもと、この4つのテーマを軸に活動と事業をすすめていきます。

コープのあるまち 協同のあるくらし

つながり　健康　環境　あんしん

～やさしさつむいで 笑顔で未来(あした)へ～

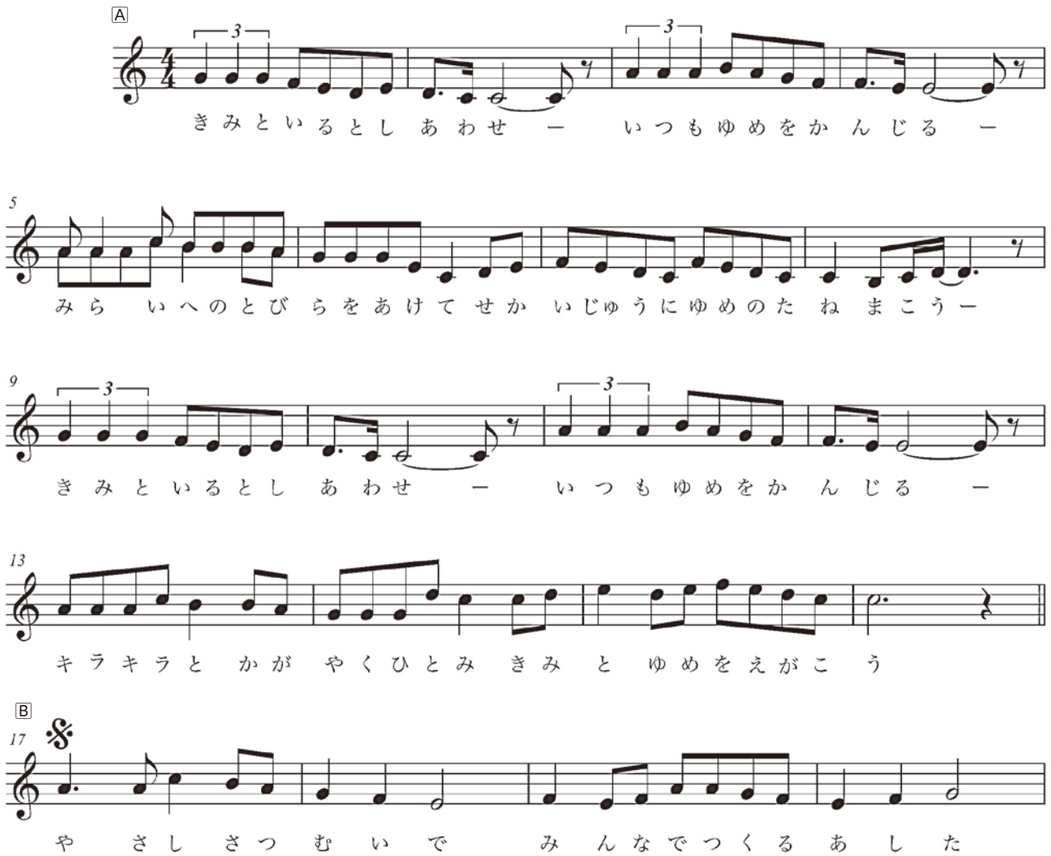
coop next 100

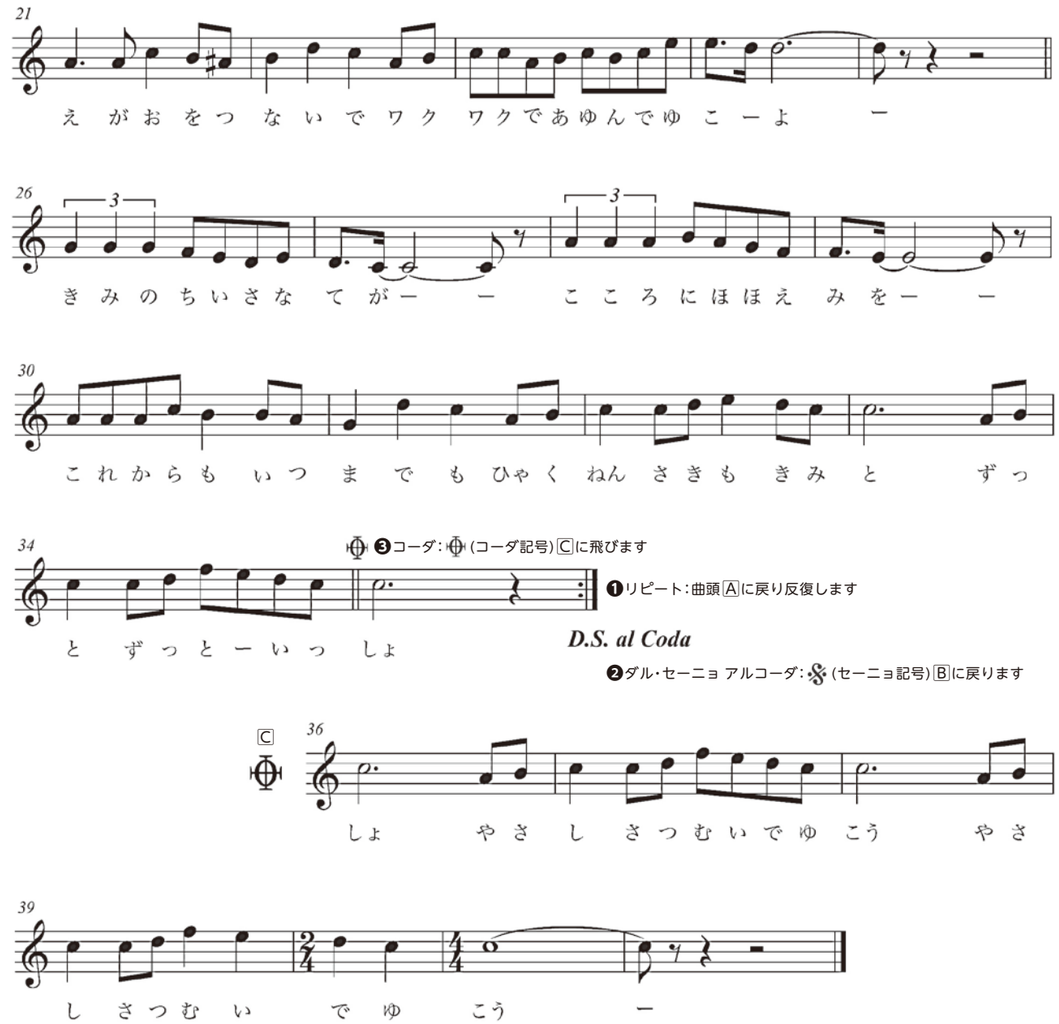
6月

# やさしさ　つむいで

コープこうべ100周年記念ソング

作詞・作曲　臼井　真




## この曲ができるまで…

2020年6月から9月末まで、未来へのメッセージとして「100周年記念ソング」のフレーズと10年後のイメージイラストを募集し、2437通の応募がありました。その中から、歌詞に取り入れ、未来に残したいフレーズを選び、臼井真氏に作詞・作曲をいただきました。未来への希望に満ちた私たちのビジョン「ターゲット2030」を表現する歌です。

歌づくりワークショップの様子

**臼井（うすい） 真（まこと）**（現在、神戸親和女子大学 児童教育学科 准教授）

1960年、兵庫県神戸市生まれ。神戸市内の小学校で音楽専科教諭を務めた。小学生のための作詞・作曲オリジナル曲は400曲以上。

1995年、阪神淡路大震災で自宅が全壊。震災直後、「しあわせ運べるように」を作詞・作曲。国内だけでなく、英語やフランス語など、世界12ヵ国語に訳され、海外でも広く歌われている。同歌は、2021年1月、神戸市歌に指定された。

一、君といると　幸せ　いつも夢を感じる
未来への扉をあけて　世界中に夢の種まこう
君といると　幸せ　いつも夢を感じる
キラキラと輝く瞳　君と夢を描こう
やさしさ　つむいで　みんなでつくる　明日
笑顔を　つないで　ワクワクで　歩んでゆこうよ
君の小さな手が　心に　ほほえみを
これからも　いつまでも
100年先も　君と　ずっと　一緒

二、君といると　幸せ　いつも愛を感じる
助け合い育みあって　世界中に愛の種まこう
君といると　幸せ　いつも愛を感じる
さりげない日々の思い出　君と愛を語ろう
やさしさ　つむいで　みんなでつくる　未来
笑顔を　つないで　ドキドキで　進んでゆこうよ
君の小さな手が　心に　安らぎを
これからも　いつまでも
100年先も　君と　ずっと　一緒

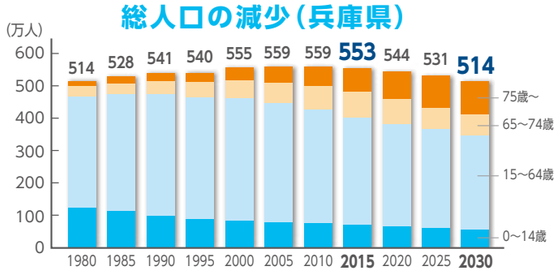
やさしさ　つむいで　みんなでつくる　明日
笑顔を　つないで　ワクワクで　歩んでゆこうよ
君の小さな手が　心に　ほほえみを
これからも　いつまでも
100年先も　君と　ずっと　一緒
やさしさ　つむいでゆこう
やさしさ　つむいでゆこう

100周年記念ソング

# 2030年の注目すべき環境変化

## くらし・地域を取り巻く環境変化

### 総人口の減少（兵庫県）

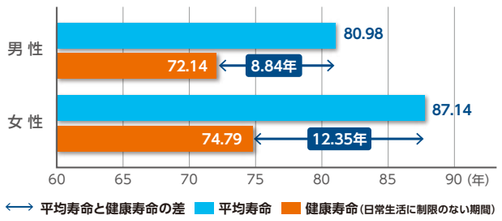



| | 2015年 | | 2030年 |
|---|---|---|---|
| 総人口 | 553万人 | ↓ | 514万人 |
| 年少人口(0～14歳) | 71万人 | ↓ | 56万人 |
| 生産年齢人口(15～64歳) | 332万人 | ↓ | 292万人 |
| 高齢者人口(65歳以上) | 80万人 | ↑ | 63万人 |
| 後期高齢者人口(75歳以上) | 71万人 | ↑ | 103万人 |

出典:2015年までは総務省国勢調査、2020年からは国立社会保険・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2018年3月)」

兵庫県の総人口は減少していきます。生産年齢人口が大きく減る一方で高齢者は増えていきます。
新型コロナウイルス感染拡大が出生数低下に影響する可能性も指摘されており、更に少子化が加速する懸念があります。

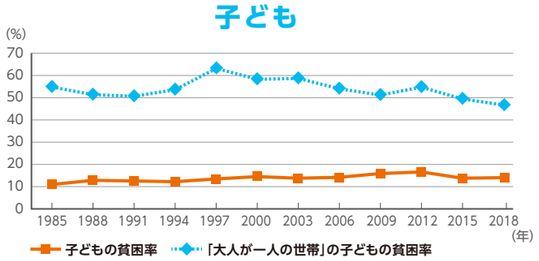
### 健 康




出典:内閣府「平成30年版高齢社会白書」

平均寿命は伸びているものの、健康寿命との差は、約10歳あります。健康でいきいきした生活を長く送るために、健康寿命を伸ばすことが課題となっていきます。また、人生100年時代となり、「教育を受ける」「仕事をする」「引退して余生を過ごす」というライフコースは大きく変化していきます。

### 子ども

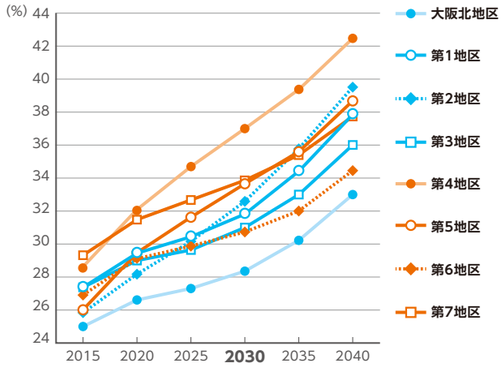



出典:厚生労働省「国民生活基礎調査」(2019年)

少子化が進み、子どもはさらに減少していきます。子どもの貧困や子育ての孤立などが問題となっています。「子どもの未来は日本の未来」といわれるように、子どもの貧困への取り組みは、少子高齢化が進む日本で、活力ある社会を創り、日本経済の活性化を図る上でも重要な取り組みです。

### 地区別の高齢化率

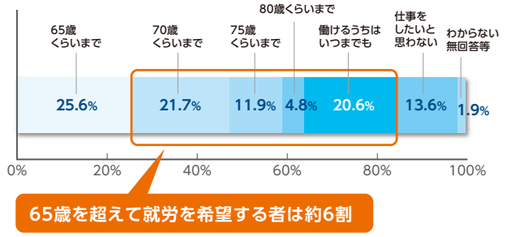
**地区別・65歳以上人口割合の推移**




2030年には、ほとんどの地区で3人に1人が65歳以上に。
その割合はその後も増えていきます。

### 人生100年時代へ（元気な高齢者）

**60歳以上男女の就労希望年齢（全国）**



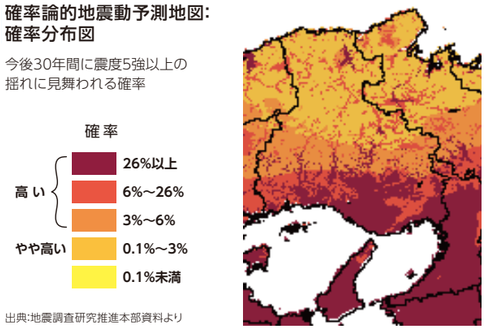

出典:内閣府「令和元年度 高齢者の経済生活に関する調査結果」

60歳以上の男女のうち、65歳を超えても働きたいと考えている人は、約6割にのぼります。
また、地域の自主的な活動への参加も増えてきています。

### 防 災

**確率論的地震動予測地図：確率分布図**

今後30年間に震度5強以上の揺れに見舞われる確率



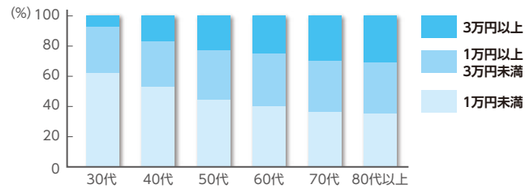

出典:地震調査研究推進本部資料より

今後30年間に震度5強以上の大規模な地震が起きる確率が高まっています。中でも太平洋側の都市部を含む沿岸地域では、26%以上の確率の地域が多くなっています。

## コープこうべを取り巻く環境変化

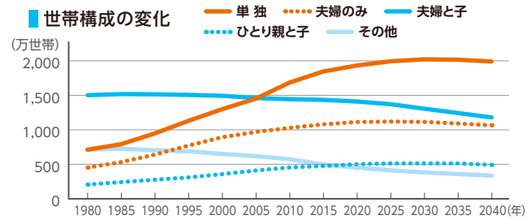
### 購買事業

**組合員の年代別の月間利用金額（全国）**




出典:2018年度 全国組合員意識調査

**世帯構成の変化**




出典:国立社会保険・人口問題研究所『日本の世帯数の将来推計(全国推計)』(2018年推計)

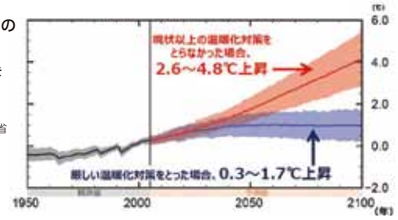
組合員の利用金額は低下してきています。とくに若い世代の利用金額の低下が課題となっています。
また、共働き世帯や一人暮らし世帯も増え、くらしや商品に対するニーズはより多様化していきます。

### 地球温暖化

**世界の平均気温の変化の予測**

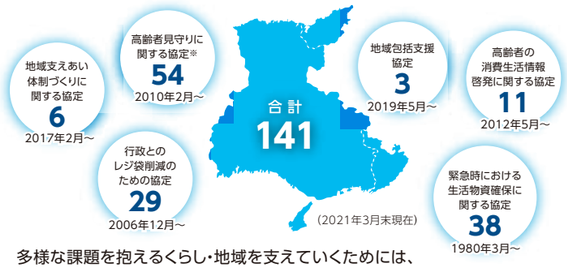
1986年～2005年を基準とした21世紀末の変化

出典:環境省




有効な温暖化対策をとらなかった場合、2081年～2100年の世界の平均気温は、1986年～2005年と比べて、2.6～4.8℃上昇、厳しい温暖化対策をとった場合でも0.3～1.7℃上昇する可能性が高くなります。さらに、平均海面水位は、最大82cm上昇する可能性が高いと予測されています。

### 地域とのつながり

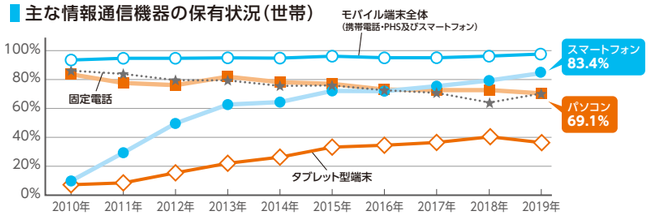



多様な課題を抱えるくらし・地域を支えていくためには、ネットワークの力が重要です。行政・NPO・地域諸団体などと連携しながら地域の課題を解決する実践が積み重ねられています。
※ネットワーク(地域全体で見守る)参加型含む

### デジタル化の加速

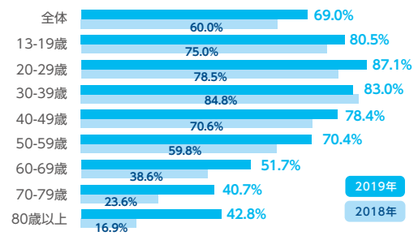
出典:総務省「令和元年通信利用動向調査」

**主な情報通信機器の保有状況（世帯）**



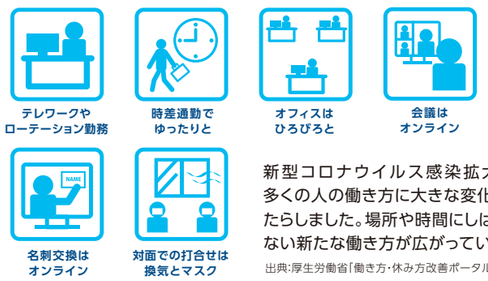

**SNSの利用者動向**

出典:総務省「令和元年通信利用動向調査」




スマートフォンの保有率はここ10年で急激に増加し、パソコンを上回りました。もはや、スマートフォンは生活の一部になっています。
今後は身の周りのあらゆるモノがインターネットに繋がっていき、私たちの生活を便利にしてくれるだけではなく、さまざまな事業で幅広く活躍していきます。また、SNS利用者も年々増えており、新たな「つながりのカタチ」として注目が高まっています。

### 働き方の新しいスタイル




新型コロナウイルス感染拡大は、多くの人の働き方に大きな変化をもたらしました。場所や時間にしばられない新たな働き方が広がっています。

出典:厚生労働省「働き方・休み方改善ポータルサイト」

### シェアリングエコノミー

出典:シェアリングエコノミー協会

資産に対して「所有する」という考えから、「共有する」という考えへの変化が起こってきています。消費者の生活が劇的に変化する可能性を秘めています。